

第18回多摩市自治推進委員会 要点記録

平成27年4月9日(木) 18:30~20:30

多摩市役所3階 特別会議室

出席者：安藤委員長、松本副委員長、川添委員、小嶋委員、横山委員、田中委員

事務局：企画政策部長、企画課長、企画課主査、企画課主事

審議：報告書に関する検討について

※地域で活動されている方へのヒアリングの内容については、個人情報が含まれるため、非公開とさせていただきます（多摩市情報公開条例第7条第2号に該当）。

□開会

委員長 これまで、報告書の作成に向けて、前回（3/16）、前々回（3/12）と集中的に事例検討を行ってきた。また、前回の自治推進委員会後に、委員の皆様にはご都合の良い日程で参加いただきながら、①雪かきボランティア（3/30）、②NPO法人シーズネットワーク（4/1）に対して、インタビューを行っていただいた。

まずは、事務局から、インタビューの結果について報告をお願いします。

事務局 インタビューの結果について、事務局から報告した。

委員長 これらのインタビューを振り返り、報告書へ掲載すべき内容について議論していきたい。

事務局 インタビューの内容について、議論を行った。

委員長 続いて、報告書についての検討に移りたい。事務局から説明をお願いしたい。

事務局 資料1「報告書の作成イメージ（案）」等について、事務局から説明した。

委員長 事例検討のまとめ方のイメージについて、現在は漫画形式で記載している。漫画形式がよいか、それとも雑誌のようなコラム形式が良いか。ターゲットにする年齢層により作り方が異なると思うが、いかがか。

委員 漫画形式は目を引くと思うが、雑誌のコラム形式でも良いと思う。

副委員長 漫画形式はカフェや公民館で読むのであれば、目に留まるのではないか。

委員 まず、手に取ってもらえる点が良い。

委員長 また、7事例の掲載を予定している。全編を通して同じパターンで行くことが、読者を惹きつけるか惹きつけないかも考える必要がある。

副委員長 2つのパターン（漫画形式、雑誌のコラム形式）を作って、どちらがわかりやすいかを聞いてみても良い。各年代で3人、合計10人位に聞くとわかるのではないか。

委員長 いずれにしても、事例の部分をつかいて読ませるのが最大のポイントである。そのためには、

個人をクローズアップする必要がある。個人がきっかけをどう作って、どのような時に悲しかったのか、辛かったのかなどを表現するかがポイントである。

報告書全体を通して、意見等はあるか。

委員

4ページの「おや？」から始まる部分について、もう少し説明があると良い。

委員長

34ページの「たまり場」とは何かについて、説明する必要がある。たまり場には色々な人がいるというメッセージが出せると良い。可能な限り、たまり場情報をまとめて、一覧にするなどする必要がある。

また、まとめの部分では、色々な多摩市の課題を載せて、市民として考えないといけない。ことがあることを示すと良い。

それでは、本日の議論はここまでとしたい。

今後、報告書の作成に向けて、委員の皆様には任意で参加いただきながら、4/22、4/28に事例検討を行う予定である。また、次回の委員会は5/21に開催する。

□閉会